

第8回地方独立行政法人広島県立病院機構（仮称）情報システム等

公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和6年8月19日から令和6年8月23日まで
2	場 所	書面開催とし、各委員へ持ち回り
3	出席委員	健康福祉局 医療機能強化担当部長 病院事業局 事務部長 県立広島病院副院長（兼）事務局長 県立安芸津病院副院長（兼）事務長 総務局 情報戦略担当部長
4	議 題	評価基準について
5	担当部署	病院事業局県立病院課（庶務担当：医療機能強化推進課法人財務グループ）
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	プロポーザル参加希望者の評価に用いる「評価基準」について、各委員へ持ち回り確認を行った結果、疑義や異議はなく、議案の「評価基準（案）」を用いることで決定した。

第9回地方独立行政法人広島県立病院機構（仮称）情報システム等

公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和6年9月12日（木）13:00～16:35
2	場 所	オンライン
3	出席委員	健康福祉局 医療機能強化担当部長 病院事業局 事務部長 県立広島病院副院長（兼）事務局長 県立安芸津病院副院長（兼）事務長 総務局 情報戦略担当部長
4	議 題	地方独立行政法人広島県立病院機構（仮称）本部ホームページ作成・管理業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	広島県健康福祉局医療機能強化推進課
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	1 審査方法 提出された企画提案書を審査し、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。 2 審査結果 （1）審査対象者 A社：リタワークス株式会社 B社：株式会社ウイン C社：株式会社イディー

		<p>D社：株式会社織</p> <p>E社：株式会社リアライズ</p> <p>F社：株式会社広島朝日広告社</p> <p>(2) 審査対象者の評価値</p> <p>審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり</p> <p>(3) 最優秀提案者</p> <p>E社：株式会社リアライズ</p> <p>(4) 委員の評価</p> <p>A社：リタワークス株式会社</p> <ul style="list-style-type: none">・医療機関に特化しており、実績も十分にある。動画を積極的に使い、分かり易さに配慮しているほか、広報戦略を採用等も含めたトータルパッケージで考えられている。・インタビューを通じた地域でのファンづくりなど、コンテンツ企画内容が優れている。・要件定義の工程やドメインに関する提案がなかった。また、ISMS 認定を受けていないことも懸念点である。 <p>B社：株式会社ウイン</p> <ul style="list-style-type: none">・将来的なコンテンツ量を把握し、情報の拡張性への対応を丁寧に担保している。・医療機関に関する実績が乏しい。 <p>C社：株式会社イディー</p>
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすさや伝わりやすさを重視した、県民目線に立ったコンセプトが評価できる。 ・広告デザインの実績が多いほか、採用LP、コンテンツ企画など、オプションではあるが運用支援等のメニューが豊富であり期待できる。 ・医療機関の作成実績が少ないため、その後のフォローが必要になる懸念がある。 <p>D社：株式会社織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の提案や、採用情報専用コンテンツ、アクセス解析レポートについては具体的かつ有効な方策を提案しており評価できる。 ・大規模医療機関の実績がないことが懸念点であるほか、ページ作成や更新、追加に係る具体的な提案が乏しかった。 <p>E社：株式会社リアライズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム機能要件的には問題がない等、他と大きな差異がなく、価格評価も高いため総合評価は高い。 ・デザイン等は手堅くまとめている一方、斬新さや興味を引く提案が無かったため、ブランド戦略となる独自提案や特徴的なコンテンツ企画案があることが望ましい。 <p>F社：株式会社広島朝日広告社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ作成における手法が標準化されており、一定のクオリティが保てる設計となっている。 ・基本的考え方、課題対応がイメージ先行で、県民に伝わるかという点において疑問があり、具体的なホームページがイメージできない。
--	--	---